

よいことのために手をとりあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）
その他の木曜日（18：30～19：30）
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>
メールアドレス yoshida@shirakawa-cci.or.jp
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会長 藤田 龍文
幹事 運天 直人

創立1986年

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1891回例会 | 令和8年3月5日
12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 国歌君が代
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は、HM報告ありがとうございます。3月となり、40周年コンペ、式典が真近となってきました。会員全員でとりくんでいきたいと思えます。）
- 永山龍太郎会員（急ではありますが、来週13日～スーツのオーダー会を開催します。詳細は後日ご連絡さし上げます。40周年前に納品出来る様にします。ぜひよろしく願います。）
- 根本あゆみ会員（HMではAsianをご利用いただきありがとうございました。各班楽しそうで良かったです。）
- 金田昇会員（楓でのホームミーティングとても有意義で楽しかったです。）
（2月21日の地区チームセミナーでは、クラブみなさまに大変お世話になりました。）
- 櫻岡俊之会員（誕生日のお祝いありがとうございました。）
- 佐藤幸彦会員（誕生日プレゼント、ありがとうございました。）
- 山縣栄寿会員（3月に入りました。今月もスマイル、ニコニコよろしく願います。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 2月17日 12班ホームミーティング アジマンチャオ
佐藤弘、瀬谷隆志、阿部克弘、佐川京子、根本あゆみ
- 2月19日 2班ホームミーティング アジマンチャオ
齋藤愛、村上堅二、前原俊治、成井正之、菊地隆博、車田祐介
- 2月20日 3班ホームミーティング 山縣宅
山縣栄寿、上田雄介、吉田充、宮本多可夫、兼子聡、十文字光伸
- 2月24日 5班ホームミーティング こうりんぼう
渡辺道直、須藤正樹、富永章、山口治、齋藤孝弘
- 2月27日 6班ホームミーティング 王王楼
十文字俊之、長克則、安部和夫、鳴島三夫、諸橋和典、櫻岡俊之、鈴木恒平

▶第1891回例会出席状況 (R8年3月5日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	58名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17名
Ⓓ 全正会員数	75名
Ⓒ ①の出席者数	29名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	70
Ⓘ = ⑥ / ⑽ × 100 (例会出席率)	58.5%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。あつという間に3月になりました。いつも月初めの例会で国歌斉唱すると私だけじゃないと思いますが永野先輩の顔をいつも思い浮かべてしまいます。新しく入った会員の方は永野先輩の訓示を聞いたか聞かないかはわかりませんが、国歌斉唱の時には起立を正してしっかりと背筋を伸ばして指もズボンの縫い目に合わせて直立でしっかり歌うんだというのを、何回も指導された思い出がありまして。私もちらちら皆さんのこと聞いてますけども、ほとんどの方がやっぱそういった姿勢でやってらっしゃるといのは当時は何もわからない時はこうぼやんと国歌斉唱してましたけども、我が西ロータリークラブはそういったところではきちんとした姿勢でやってらっしゃる方が多いので、これはどこに行っても通用することだと思いますので先輩のありがたい教えたかった。今でもどこへ行っても国歌斉唱聞くと、斉唱しながら永野さんの話を思い出すのが私はあります。本日はホームミーティングの報告会ということで、最近ありがたいことに会員数が増えましたので、今回のホームミーティングも12班構成でやれることになっております。2回の例会に渡って6班ずつの発表になるかと思いますが、そういったところでは周年の集まりだったり、地区の集まりであったり大変今スケジュールが込み合っておりますが、その合間を縫っての各班のホームミーティングの設営ということで、大変班長や書記の皆さんには大変ご苦労かけたかと思っております。今年2回目のホームミーティングなんです。1回目は意識的に班長をベテランの会員の方ということで。逆にこの2回目は、意識的に新入会員の入会歴が浅い方を積極的をお願いしたので、皆さん場所の設営だったりという進行だったりというはちょっと苦労されたかもしれませんが、そういったところで皆さんといろいろ連絡方法だったり会の進め方だったりというのを苦労するのもまた一つの楽しみと自分のスキルアップのための訓練になるかと思っておりますので、是非経験していただければと思います。今日から例会までこのファイルを皆さんのところにもしつこいくらいに回し続けます。これ40周年の記念式典の出欠表でございます。是非、全員で多く取り組んでいきたいと思っておりますので、もちろんメールやファックス等でもご案内しますが、例会来てる方でご自身の出欠とそしてパートナーの方が参加される方はパートナーの出席というのを回していただいて。この参加人数でどんどん士気を高めていきたいなと想像しておりますので、是非そちらのほうも本日来てる会員の方はもう出欠がわかる範囲でこちらに書き込んでいただければと思います。パートナーの方にはドレスコードを今回は着物ということでお願いしておりますので、そこも含みおきいただきながら、だいたい前から言っておりますので、段取りしている方もいらっしゃるとお聞きしておりますので、その辺はお手間をかけると思いますが、是非式典を華やかにいろんな方をお迎えしていきたいと思っております。それでは、本日ホームミーティングの報告会ということでいろいろな話を聞けることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

- 猪苗代RC会長 渡部元衛 記念事業実行委員長 渡部英一：猪苗代ロータリークラブ創立60周年記念式典・記念講演会・祝賀会ご案内
- 泉田ガバナー事務所：財団室NEWS2026年3月号
- ガバナー泉田征慶 ガバナーエレクト金田昇：会長エレクトトレーニングセミナー(PELS)開催のご案内
- 株式会社 オクトン：カタログ送付のご案内及び商品価格の改定について
- 地区ロータリー財団委員長 林克重：本申請ゲールフォームアドレス・3月レート補助金表について
- 白河市国際交流会会長 内義久：【白河市国際交流会会報vol.30】の送付について

■各委員会報告

●親睦活動委員会

高田久美子委員

結婚記念日

片倉義文会員、沼田重一会員、佐川京子会員、松永紀男会員

誕生日

鈴木満会員、矢田部錦四郎会員、佐藤幸彦会員、山縣栄寿会員、佐川京子会員、櫻岡敏之会員、佐藤礼子会員



●雑誌広報渉外委員会

鈴木典雄委員長



皆さん、こんにちは。今月号の『ロータリーの友』の読みどころをご紹介します。まず、ロータリアンが読まなければならないRI指定記事を中心に紹介していきます。まず、横組み2ページ「RIからの会長メッセージ」となっています。こちらはRI指定記事となっておりますので、是非ご一読をお願いします。続きまして、横組み12ページ、こちらは来年度会長のオンラインカ・ハキーム・ババロラさんの紹介記事が載っております。続きまして、横組み39ページこちらもRI指定記事となっております。「財団委員長からのメッセージ」と「2026年国際大会」のお知らせが載っております。続きまして、縦組み2ページ「南海トラフ巨大地震を乗り越える」というタイトルで、南海トラフ巨大地震を乗り越えるための備えとなるヒントの記事が書いてあります。続きまして、縦組み7ページ「この人を訪ねて」では人吉中央ロータリークラブの村田優子さん。旅館業を営んでおりますこの方の紹介が記載されております。

●地区セミナーのお礼

金田昇ガバナーエレクト



皆さん、こんにちは。先々週おこなわれました地区の地区チームラーニングセミナーにおかれましては、クラブの皆様大変お世話になりました。ありがとうございます。150名を超える参加者の中でしっかり国際協議会の報告から始まりまして、次年度の地区方針、また各委員長様への

お願い等々おこないまして、地区チームの結束と方向性、それからベクトル合わせということでしっかりやることができました。懇親会も終わりまして、その中で皆さんからいろんなご意見とか感想をいただいたんですが、白河西ロータリークラブのおもてなしの素晴らしさということについて非常にお褒めの言葉を沢山いただきました。新白河の駅で横断幕でお出迎えしたりとかきめ細かなおもてなしを受けて、また楽しいお時間を過ごせましたということで、有意義な地区チームセミナーを体験できましたというお声を沢山いただきました。これから、3大セミナーのスタートです。この次はPELS、会長エレクトセミナー、それから地区協議会と今年度中に2つの大きなイベントがありますが、また皆様のお力添えをいただきながら地区運営に準備を進めてまいりたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。お礼といたします。

■本日のプログラム

ホームミーティング報告会

●2班

村上堅二会員



皆さん、こんにちは。第2班の書記を担当しております村上と申します。2026年ホームミーティングの報告をさせていただきます。日時は2月19日、場所は根本会員の「アジアンチャオ」のほうで開催させていただきました。班長は齋藤愛班長。書記はわたくし村上。そして、参加者は前原会員、成井会員、菊地会員、車田会員で6名全員出席で開催させていただきました。最初、ホームミーティング始まる前に成井会員のほうから地区大会とか、あと40周年の式典とかの話になり、なかなか本題に入ることはなかったんですけど、やっと本題に入れたこと、いろんな楽しいお話をお聞きしながら何とか本題に入っていました。1番のほうで、ガバナー年度に期待することということでお話がありました。私たちの白河西ロータリークラブの40周年を迎えるにあたってという形でガバナー輩出という形になるんですけども、亡くなられた林さんとか永野さんとかが切望していたガバナー輩出ができるということで、非常に感慨深いものがあるというふうな話を成井会員のほうから言われておりました。そして、クラブの40周年と人間の人生でもやっぱり40代が一番力がある時期なので、そういった意味ではこの時期にガバナー輩出できる、そしてそういったことができるのが一番いい時期になってるのかなというふうな話がありました。この機会に是非とも白河西ロータリークラブをこの地区で名前が響きますように皆さんで進めていきたいという形です。応援していこうという形になりました。今回はガバナー輩出という形になりますので、いろんなもので当クラブのほうに担当が来るわけですけども、役割が来ます。そういった意

味では、この役割分担を一つのきっかけにしてクラブが一丸となれるように、そういった機会になるようにしていければいいなという話がありました。あともう一つは、特に40周年を迎えてそしてガバナー輩出、これを大きな誇りに持てるようにしていただきたいというふうに思っておりますということでありました。それから、これまでは皆さん私も含めて地区役員の方に頑張ってくださいという話をよくしてたんですけども、そうではなくて皆さんで頑張るといふことの気持ちをもう一度持ってガバナー輩出に向かっていただきたいというふうにお話がありました。特に、金田さんがガバナーになるということは昇さんもすごい名誉でもあるんですけども、我がクラブとしても大きな名誉になるということを胸に刻んで、ガバナー輩出でお手伝いできるようにクラブ一丸となって進めていければなというふうな話がありました。本当にそのガバナー輩出という形は念願でありましたので、当クラブでも全面的に皆さんで応援していかなきゃならないという年度になってますからということで、皆さん心を新たにしていければなというふうに思いました。2番のほう、ホームミーティングに関してという形なんですけども、ホームミーティングは日頃例会でお会いすることあるんですけども、お話をすることはなかなかないんですね。結局例会ってどっちかというところ聞かなくて、ホームミーティングは逆に話す場って形になりますので。そういった意味ではこういった機会があったほうが非常に会員同士の交流の場としてはいいのかなという話がありました。最初はこのホームミーティングって元々はファイヤーサイドミーティングでしたね。結局、暖炉を囲んで皆さんで話をする、そういった会なので。そういった意味では皆さんが是非いろんなお話ができるように、そしてメンバー今まではご挨拶だけはしてもなかなかメンバーのいろんな事情とかお話は聞くことはなかったんで、こういった会にいろんな話が聞けることがやっぱりいいのかなという話がありました。可能であれば例会でもそのホームミーティングのような形で各テーブルでちょっとお話をするとか、そういったのもあってもこれからのいいのかなという話もありました。それとホームミーティングは毎回題目が出るんですけども、多分皆さんもわかってのとおり、ホームミーティングってその題目に沿って話なんかしないですよ。いろんな話になっちゃうんですけども、題目があったほうがやはり話が進めやすいので、まあ何かしら題目を作ってそれに沿って話をさせていただくのが一番いいのかなという形になりました。ホームミーティングのほうは某N会員のほうが昔の武勇伝で随分笑って終わったんですけども。最後にですね、齋藤愛班長の仕切りによって何とかこの会をできたことを報告していきたいと思っております。

●3班

上田雄介会員



皆さん、こんにちは。わたくしのほうからは第3班、山縣班長のもとおこなわれましたホームミーティングの報告のほうをさせていただきます。まず2月20日、山縣班長のご自宅並びに事務所ですか、そちらのほうで全員出席のもとおこなわれました。宮本先生、吉田充さん、兼子聡さん、十文字光伸さん、全員集合のもと時間通り定刻通りに開始されまして、山縣班長のアジェンダの作成もございましたの

で、そちらに乗っ取って進めさせていただきました。その話し合いの中で、テーマに関しまして(1)ガバナー年度に期待すること、こちらについては他の班同様だとは思いますが、求心力一致団結する年だと、そういう年にしていきたいという声が多く上がってまいりました。その他、個人的な目標も数多くあげられて、与えられた職を全うしていきたいと。また、参加に対しての時間調整なんかも努力していきたいという声も上がっております。また、寄付額の達成。こちら是非クリアしていきたいという声も上がっておりますので、そちらはそういった意気込みをした会員だけではなく、班員全員でそういった方向でガバナー年度に対して集中してやっていきたいと思っております。(2)ホームミーティングで感じた成果、こちらにつきましてはチャーターメンバーであります宮本先生のほうからホームミーティングとは何ぞやというそういった説明から始まりまして、わたくしも初参加ではあったんですけどもこういった資料のほうを頂戴しまして、その資料を見ますと炉辺会合そういった言い方をされるというのも初めて伺いましたので、ホームミーティングとは何ぞやというところから切り出しているいろんな意見のほう吸い上げてまいりました。そもそもホームミーティングの目的、ホームミーティングの成果というのを、長年経験した皆さんから大変貴重な話をいただいたというのもございます。その中でやはりホームミーティングこそが出発点であるとか、これからももちろん続けていきたい。西クラブの退会者が少ないのはホームミーティングの成果ではないかという声も上がっております。あとは、例会はどうしても形にとらわれるものではありますが、法規とか法令にとらわれずに皆さんでいろんな話をできるというのはホームミーティングの魅力ではないかといった本当にいろんな声が上がりましたので、初参加の私も気兼ねなく発言のほうさせていただきましたし、またこれまでの歴史や伝統なんかも踏まえた重みのある学びも得ることができたのではないかなと思っております。今回おこなわれましたのが山縣班長のご自宅、事務所ということで、班長の奥様にもコンパニオンとして参加していただきました。渾身の手料理を振舞っていただき、また家族ならではのそういったお話のほうも伺うことができましたので、よりロータリーに対してのクラブに対しての理解も増えたのではないかなと思っております。また、皆さん不動産をそれぞれ生業にしている方が揃ったので、山縣班長のご自宅の視察とか、そういった普段はこの会場では話すことができないような気さくな会話も増えたとし、いろいろ仕事に通じる部分もお話できたので非常にいい会合であったのかなと思っております。このメンバーでホームミーティングをおこなうというのは今後ないかもしれませんが、是非とも皆さんと縮まった距離というのをいろんなところでまた展開していければいいのかなと思っております。大変拙い説明ではございましたけれども、以上で3班の説明となります。

●5班



渡辺道直会員

皆様、こんにちは。5班の発表報告ということで、書記須藤さんの代わりに発表をさせていただきます。直前にちょっとまとめていただいたものを渡されたので、そちらを基に報告させていただきます。ホームミーティング開催が2月24日、場所が「こうりんぼう」でおこなわれております。まず、テーマに沿って皆様のご意見についてご報告します。1番のガバナー年度に期待すること。こちらは自分たちの動きなのか、全体の動きなのかいろいろ意見がありましたけれども、まずいろんな各種行事なども多くこれから行われるということもありまして、一年通じて皆さん健康のほうをまず大事にしていた方がいいんじゃないかと。自分達もその体調管理をしっかりしていきたいよねという話が出ておりました。またガバナーならではの、ほかの地区、全国、世界の経験を会員全体、来ていない方も含めて皆さんと共有できるようにそういった情報を発信していただいたいという意見もありました。ロータリーのネットワークの広さや魅力を身近に感じられる形で、是非わかりやすい形で伝えてほしいなという意見もございました。こちらは自分から発信情報を得るといこともできると思うんですけども、多分来年ガバナー年度についてはいつもと違った雰囲気もあると思っておりますので、そういった中で違う形の情報の発信の仕方があるんじゃないかなというところが意見としてありました。またその年度だからこそ普段いけない場所とか取り組みをクラブに持ち帰ってきてほしいという希望という意見もございました。ガバナー年度に期待することについては以上となります。続きまして、今回のミーティングで感じた成果、これについては意義という意味も含めて今までの経験の中でという先輩方のご意見いただきながら、過去のロータリーの活動についてどんな活動でどんな人がいたという話をよく知っていただく若い人たちに知っていただくという機会でもありますし、今回はすごい近い距離で居酒屋さんでやったわけですけども、自宅でもそうですけども、本当に近い所で目を顔を合わせながら話すことで距離感も縮まって人となりを知る機会ができたということでもあります。また、入会歴や役職に関係なく話しやすい雰囲気が生まれたと。あとはテーマがあることで考えて参加する意識が高まったという意見。そして、考え方や価値観を知る良い機会となった、お互いの価値観、親しくなること自体が大きな成果であると考えます。そして最後に、ロータリーへの関心がさらに高まったと、こういった感想がご意見としてございました。簡単ではございますが、最後にまとめとさせていただきますと、まずそういったホームミーティングの場というのは、決定的場ではなく繋がりを深める場としてすごく大変有意義だったという、いい感覚で終わったと思っております。そして、今後の活動や例会にもそういった意見とか経験を生かしていきたいなという感想でございます。

●6班



長克則会員

皆様、こんにちは。2025-26年度第2回ホームミーティング、第6班の報告をさせていただきますと思います。日時は2月27日金曜日、19時から中華料理「王王楼」で開催されました。班長に十文字俊之会員。書記がわたくし。メンバーは、安部パスト会長、鳴島パスト会長、諸橋財団委員長、櫻岡親睦委員長、鈴木恒平会員の7名で欠席者なく開催できました。テーマのですね、ガバナー年度に期待することというテーマで話をさせていただいたんですが、以前にも西ロータリーのほうではガバナーの候補の話もあったというお話もお聞きまして、その時には年齢の問題や健康の問題というものがあり叶わなかったということが以前にもあったということをお聞きしました。ですが今回は、金田ガバナーエレクトが次年度2530地区のガバナーになる。西クラブにとっても特にクラブを活性化させるためにも良いチャンスと捉えて、会員全員が協力しあい2530地区にアピールできる意味もあるということで、また西クラブの結束を高め、これから様々な地区の行事も予定もありますので、一緒に一致団結して活動していけるのではないかと期待しているという意見で皆さんと話をさせていただきました。ひとついろんな行事も多々あるんですけど、それには皆さん各地区のほうにも出向していく方とかいろんな大変な事もあるんですけど、金田ガバナーには第一に健康に気を付けていただきたいことと、2530地区クラブここでは全部は説明できないんですけど、大変忙しくなると思いますのでくれぐれもご自愛いただいて無事終了できるように、西クラブ全員で支えていけることを期待するというのを皆さんで確認させていただきました。一応ガバナー年度に期待することというのは先程からいろんな方々からもお話があったとおり、いろんな事の重複になってしまうと思いますので、一番皆さんで心配していることはガバナーの健康状態、これを一番考えてみんなでバックアップしながら協力していけることが一番ではないかというお話をまとめさせていただきました。続きまして、第2テーマのホームミーティングで感じた成果なんですけれども、先輩の方からも他のクラブではこういうホームミーティングというのもないクラブもあるというようにお話を伺いまして、西クラブは年2回ホームミーティングを開催してるんですが、ほとんど90%近くの出席率を誇っておりますということで、非常にそういった意味で西クラブというのはホームミーティングで随分出席率も高くおこなっているんだなということがとても優秀だなというふうに思いました。中には、会員の方でも私もそうなんですけれども、このホームミーティングというのは結構楽しみにしてるところもありまして、普段会えない会員の方ですとかあまり例会でも交流が持てなかったりする会員の方同士でお酒を飲みながらホームミーティングで打ち解けているんな話ができるのも一つの魅力でもあります。特にクラブが大人数になると結構例会でも話がなかなかできない新入会員の方なんかは、特に先輩方とか話づらいようなところ話しかけづらいようなところもあったりするというお話もあったので、このホームミーティングというのが特に非常にいいというお話もありました。ホームミーティングではお酒も入りいろんな本音で話ができることもありますので、あとはクラブに不思議に思うことであ

るとか、そういったことを先輩会員から教えていただいたり、新入会員の方々にもいろんな話を通じて理解をしていただくというような場が一番いいのではないかと。それはホームミーティングなどが一番、そういう場が一番いいのではないかなということも意見が上がりました。先程もありましたけれども、ホームミーティングでは昔はファイヤーサイドミーティングと言われたそうなんですけれども、そういう意味もあってみんなでいろいろそういう話をするというのが、やっぱりこのロータリークラブのホームミーティングというのは原点であったということをお話いただきました。あと、ホームミーティングの人数などについてのお話もあったんですけど、今でいう6名から7名くらいの人数でちょうどいいのではないかという意見もありました。特に10人それ以上になったらすると、やはり手配のほうとかスケジュールの予定なども合わずに大変なこともあったりするので、今の現状がちょうどいいのではないかという意見もありました。ホームミーティングのお知らせの方法、これも少しちょっと遅いのではないかと、そういったような意見もあったんですけど、あまり早めに通知を出すと私もそうなんですけれども忘れてしまったりしてしまうようなこともある。なので、そんなに早くもなく遅くもなくというようなところで通達が出てくるといったところも大体そんなお話もありました。あと、同席された親睦委員長の櫻岡さんの意見もありましたけれども、ホームミーティングの役割であるとか、班長、書記の人選などは一番苦勞するところではあって、ただ誰でもいいというわけではなく、いろいろその人選には苦勞するところもあるということを言われたので、やはりこういう人選などは非常に苦勞されてるんだなと。その中で皆欠席せずにちゃんとホームミーティングに参加できるというのは、やはりそういったものにきちんと対応して我々も協力をしていくということが非常に大切ではないかなという意見もありました。ホームミーティングは毎回思うことなんですけれども、特に先輩方から昔からロータリーはこういうふうなことが習わしだったんだよとか、こういう昔からこういうのが会員同士ではあったんだよとか、為になる話を本当にいつも毎回説明を聞かせていただくので、ありがたいなと思って私は臨ませていただいております。私が最後に感じたことなんですけれども、例会というのはロータリークラブを学ぶ場であり、ホームミーティングは西クラブを知る場であると私は思ってこのホームミーティングを参加させていただきました。特にではないんですけど、そういった意味で私はどンドン若い方達にもロータリー、この西クラブを理解していただいて参加していただければもっとより良い結束も生まれるのではないかなと思いました。

●12班

瀬谷隆志会員



それでは、第12班のホームミーティングの報告をさせていただきますと思います。開催は2月17日の6時半より、根本会員の「アジアンチャオ」で開催させていただきました。出席者は班長の佐藤弘会員と阿部克弘会員、佐川京子会員、根本あゆみ会員、書記のわたくし、計5名の参加となりました。班長が税理士ということもありまして、確定申告が始まる前にやってしまいたいということで、なかなか早いタイミングでさせていただきましたので、一応メモってはいたんですが

結構忘れてる部分もあるので、ちょっと記憶をたどりながら報告したいと思います。まずテーマ1ですが、ガバナー年度に期待することということですが、まず一番最初に出たところは是非金田会員には体調を崩さずに一年間走り切りたいということがまず一番最初に出てきました。この一年走りきるためにも、西ロータリークラブの結束が大事であるということで、是非金田会員のやりやすい体制をメンバーみんなで構築していくことが一年間走り切っていくためのバックアップになるのではないかとのお話になりました。もちろん、参加できる人とできない人がいると思うので、できる人は先頭を切って積極的に参加していったほうが良いという意見も出ました。その中で、西クラブにしかできない事業を是非やっていただきたいなど。その中で西クラブは存在感をどんどん出していきたいということです。記憶に残る事業をしてほしいという意見も出ておりました。そして最後ですが、是非終わってからの打ち上げを盛大にやりたいなどという話も出ていましたので、そこ盛大な打ち上げができるためにも一年間皆さんで協力して頑張っていくことが必要のかなというふうに思いました。続きましてテーマ2ですが、ホームミーティングで感じた成果ということですが、まず、ホームミーティングの意味というところで、やはり親睦がメインになってくるというお話が出ました。少人数だとやはり話がしやすい。ホームミーティングで話すことが多くなったというところで、やはり例会だけだと本当に自分の近くに座った会員と話すぐらいしかできなかったところが、こういったホームミーティングをやってお酒も入るということで、なかなか年齢の離れた会員とか普段話すことのない方のお話ができるというところで、前程の報告にもありましたけどもロータリークラブの歴史だったりとか、過去のそういったやってきたことなんかいろいろ聞けるというのはすごくいい機会だなという話になりました。また、ホームミーティングですと出席率が多くなるので回数を増やすのもいいんじゃないかという意見も出た半面、ちょっと大変さが増すのかなというところでバランスが取れるようにやっていくことが大事かなというふうに思いました。そして、最後ですがこれだけは根本会員から言ってくれと言われたので報告させていただきますが、今回料理の中に辛子味噌が入ってたんですが、この辛子味噌の辛子は関谷会員のところの苗を使って育てた辛子と、会長のところの味噌を使ったロータリー愛溢れる辛子味噌となっております、もし皆さん機会があれば一度召し上がっていただくのもいいのかなというふうに思いました。ちょっと短いですけど以上となります。

●藤田龍文会長

各班のホームミーティングの報告ありがとうございます。私もまだまだ会に入って十何年ということで、ホームミーティング歴は長くもないんですがある程度の数は出させていただいて、新入会員で入った時は皆さんも感じておられると思いますが、いろいろな方々とこの例会だけで大先輩と喋るということがなかなかできないので、テーブルがたまたまご一緒になった時でも大体食事だけということですし、こちらから話しかけるというものなかなかできないので、そういった時じゃあどこで仲良くなるのかなと入りたての頃はよく考えておまして、そういった時にこのホームミーティングに何回か参加させていただいて、最初のうちはちょっとよくわかんないままこう先輩の話を聞いて

たりしたんですが、だんだん慣れてくるととてもいい勉強になる。先程、お話にありましたように、白河西ロータリーは知る場所だというのは本当に痛感しております。そして、これいろんなクラブが当たり前にやってるのかなと思うと、これも意外とやってなくてこんな年に2回もやるというのは西クラブならではだと思いますし、私もロータリー活動やってた中で本当にこのホームミーティングというのは良い事業というか、私どものロータリーは奉仕ということがありますが、会員同士の親睦というのがとても重要な団体でもあります、この親睦を深めるのには一番いいアイテムだと思っておりますので今後とも2回なんだったら3回やってもいいという時もあったりしたんですが、そういった部分で会員が増えてってそういった部分の交流ができるというのが私ども西ロータリーの強さの基盤であると思っております。その基盤が盤石になってきたからこそ、ガバナー輩出というタイミングをちゃんとキャッチできた。もちろん時代の流れとか、先輩方の体調とかもちろんありますが、そういったところはそれだけでなくこの西ロータリークラブの基盤がしっかりして金田ガバナー年度が輩出できるように感じますので、そういったところでは先程来皆さんから心配されてますように、ガバナー年度に期待するということは、なんか皆さん言っているのは意外とガバナーの体調管理のほう、そちらのほう心配して事業よりもそちらを心配してるのがありますがそれぐらい激務だと。今、生みの苦しみの時期でしょうから本当に始まってしまうとうがバナー公式訪問があって、もう怒涛のように月日が流れてしまおうと思いますが、今は準備の期間だったり、年度がずれてセミナーがもう始まっておりますが、そういった部分はこのホームミーティングで培ったいろんな親睦の絆というかですね、会員の絆で西ロータリーらしさを県内外の地区の方にアピールできるのかなと思っております。今、いろいろ世界情勢が云々かんぬんあってありまして、ロータリアンはそういった部分触れるべきではないというのはわかっておりますが毎日、新聞でイラン情勢だったりウクライナ情勢出てますが、ロータリークラブってあるのかなというのちょっと調べてみたんですけど。ロシアにはロータリークラブがあるんですね。モスクワロータリークラブなんかあって、ウクライナにもロータリークラブがございます。イランにはないそうですが、イスラエルにもあるそうです。アメリカにはもちろん発祥の地ですから沢山ありますが、ロシアのモスクワロータリークラブの事業の一つでウクライナ支援というのやってるらしいです。ちょっとなんか不思議な感じですが、ロシアのモスクワのロータリークラブは例会が英語でやって、おそらく在ロシアの方々のいろんな国の方々の集まりかなと想像しますが、英語で例会をやって事業の一つの中でウクライナ支援というのを引き続きおこなっているそうです。そういったちょっと悩ましいところもありますが、世界情勢がこうやっていろいろ入れ変わっていく時に今年台湾でできますが世界大会。もちろんできると思いますが、その翌年はドバイが世界大会の会場でございますが、ドバイに関してもこれからの世界情勢では開催できるかどうかというのわかりづらい見通しになってきてますが、そういったところでロータリーはそういう世界情勢に左右されずに世界の平和とか奉仕とかそういった部分を謳い続けられる団体であればいいのかなと切に願っております。そんなところで、また来週も報告会楽しみにしております。